

各拱橋及橋臺の内錢瓶町より第一鍛冶町に至る間の西側、黒門町より万世橋に至る東西
 兩側及萬世橋驛構内南側、紅梅河岸拱橋兩側笠石上には鐵造手摺高欄を設く其總延長は五
 千六百三十九呎七ナリ

従業人員 鐵桁架設及高欄建設に従事せし職工人夫總數は壹萬六千五百二十四人に
 して各工種に對する内課は次表の如し

工 種	職工名	員 數	摘 要
鐵桁架設	鍛冶工	5184	鐵桁組建及鉸銑 1040.9噸 一噸に付平均 4.98
	葦人足	5926	假構取建拂及鐵桁運搬 ,, 5.69
	銅 工	389	榑製作并取付
床板上錆止	ペイン ト職	124	平面積 675.8坪 一坪に付平均 .18
	職 工	69	,, ,, .10
同アスハルト塗	手 傳	180	,, ,, .27
	左官職	98	,, ,, .15
同防水モルタル塗	手 傳	251	,, ,, .37
	ペイン ト職	2044	鐵桁重量 1040.9噸 一噸に付平均 1.96 表面積約 4229.坪 一坪に付平均 .48
歩道敷板	大 工	439	歩道面積 77.2坪 一坪に付平均 5.69
橋柱沓石	石 工	394	基礎沓石拵及据付326.6切 一切に付平均 1.21
	手 傳	228	同石材運搬及手傳 ,, .7
高欄建設	鍛冶工	485	高欄建設延長 5639.7呎 一呎に付平均 .086
	手 傳	240	,, ,, .042
	大 工	27	
	石 工	180	高欄柱根穴彫明 ,, .032
	ペイン ト職	266	ペイント塗 ,, .047
合 計		16524	

第八 停 車 場

停車場は神田停車場一箇所にして電車専用とし其位置は神田區鍛冶町にありて東京驛より六十二鎖四十六節萬世橋驛まで三十一鎖三十一節にして鍛冶町大通り及び新石町通りに其出入口を設け本屋其他附屬建物等は總て高架線下に設く乗降場は第一第二線間及び第三第四線間に設くる設計なれども第一期工事として建造せるは第一第二線間の一箇所にして其長さ二百八十呎幅員廿四呎前後二箇所に階段を設け旅客は之に依りて昇降す停車場として設備せるものは鍛冶町側出入口に於ては本屋二十四坪二合附屬物置及便所十七坪八合人力車切符賣場及賣店二ヶ所自働電話室一ヶ所にして小手荷物は高架線下の通路を経て昇降機に依りて乗降場面に運搬す、新石町側に於ては本屋十二坪一合附屬物置及便所六坪一合賣店二ヶ所なり又乗降場には驛長派出所、乗客待合所合造一ヶ所を設く其建坪十坪五合なり

乗降場面に設備せる荷物用昇降機は一ヶ所にして其要項は左の如し

最大積載能力 一英噸 ケージの大きさ 5'×7' 11" 高 6' 昇降速度 毎分六十呎
 昇降距離 二十二呎一 電動機 半密閉型七馬力半 二十五サイクル 二百ヴォルト
 三相交流透導式

本屋及附屬屋とも總て木造にして兩出入口より階段までの通路は混凝土造にして表面は「アスハルト」舗道とし通路上部は鐵筋混凝土床硝子窓付明り取り家根を設け尙通路の兩側にある拱脚及「スラブ」の側面には白色煉瓦を貼付し通路の採光に便す、階段は附屬圖面に示す如く幅員十五呎にして鐵筋混凝土を以て構造し踏面は「ターピア」混凝土蹴込みは楓板を用ゆ乗降場床面も又鐵筋混凝土にして表面に「ターピア」混凝土を布設す乗降場の内上白壁町通りの上部に當る部分は鋼版桁を架設し其上部に波形鐵板を張り表面は他の部分と同一の構造をなす、乗降場上家は總延長327' 10" にして柱は鑄鐵製屋根は木造にして亜鉛鍍鐵板葺とす

乗降場には乗客用として水道栓一ヶ所を設置し其他通路或は床面洗滌用水栓四ヶ所事務所及便所内四ヶ所總計九ヶ所に水道栓を設置す、電燈は百ヴォルト二十「ワット」より百「ワット」までのもの總計百二十五個を點す

停車場工事の内荷物用昇降機製作及取付一切は櫻田製作所の請負にして本屋附屬屋、乗降場上家、待合室、床面通路、上部明り取り屋根、周圍境界板柵等の工事は一括して清水組の請負とし大正六年八月着手したるが拱橋工事等と關聯施工せるを以て比較的多數の日子を要し大正七年十二月工事を終了せり